

ビーだま

ビーだまのように、キラリと光る一冊を

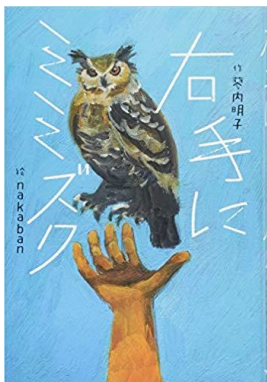
2018年1月～12月に発行された本の中から、とくにおすすめの本を紹介します

<編集・発行> 富山市立図書館 富山市西町5番1号
電話 076-461-3200
平成31年4月23日発行（年1回発行）



右手にミミズク

蓼内明子／作 nakaban／絵 フレーベル館

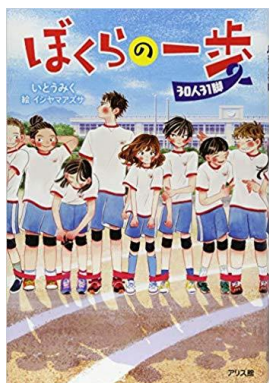


丈は六年生になっても右と左の区別がつきません。その話を聞いた転校生の実里は、マジックで丈の右手に絵をかきました。「ミミズクのミは、右手のミ」。

ミミズクをきっかけに話をするようになった二人は、同じ係になります。作業をするうち、実里はきびしくておこりっぽい父親とうまくいっていないことが分かってきました。おせっかいな丈は何ができるかを考えます。

ぼくらの一歩 30人31脚

いとうみく／作 イシヤマアズサ／絵 アリス館



転校先の栗山小で萌花は大かんげいされます。クラスが30人になったことで、足をしばってならんで走る30人31脚の大会にエントリーできるからです。みんなは卒業前の出場に大きく期待しました。やがて練習を重ねるうち、足がおそい萌花には冷たい視線が向けられ始めます。そんな萌花に、キャプテンの克哉は特訓を言いわたしました。



ジュリアが糸をつむいだ日

リンダ・スー・パーク／作 ないとうふみこ／訳 いちかわなつこ／絵 徳間書店

韓国にルーツを持つ、アメリカ人のジュリア。母の提案で、親友のパトリックとカイコガの幼虫を育てて糸をつむぐ自由研究をすることになりますが、「韓国っぽい」と感じて気が進みませんでした。

ところがたまごが幼虫に変わり、くわの葉を食べ、どんどん成長していく様子を見るうちに、愛しく思い始めます。



野生のロボット

ピーター・ブラウン／作・絵 前沢明枝／訳 福音館書店



ロズはあらしで無人島にたどりつき、一体だけ無事だったロボットです。島の動物たちの言葉を覚え、まねをして、大自然の中で生きぬくすべを身に付けました。

動物たちはロズのことを怪物だとおそれて近寄りません。しかしロズが母親がわりとなり、ガンのひなをけんめいに育てる様子に、協力するようになります。

ピアノをきかせて

小俣麦穂／著 講談社

響音にはピアニストをめざす姉がいます。母は小さなころから、姉につきっきりでした。その期待が重荷になったせいか、いきいきした音色を失っていきます。

響音は、音楽を楽しむ心を取りもどしてほしいという思いをこめて、地域の文化祭に参加し、音楽劇であとおしすることにします。

その魔球に、まだ名はない

エレン・クレイジス／著 橋本恵／訳 あすなろ書房

男子にまざって草野球をするゴードン。独自に編み出した魔球は、だれも打つことができません。

ゴードンはリトルリーグの入団テストを受け、練習試合の先発投手に選ばれますが、女子は対象外という規則により、合格を取り消されました。あきらめきれないゴードンは、かつて女子野球が存在していたことを調べ始めます。



さよ 十二歳の刺客

森川成美／作 槇えびし／画 くもん出版



さよは壇の浦の戦いでほろびた平家の生き残りの姫です。ひきょうな戦い方をした源氏をうらみ総大将だった義経に復しゅうするため馬や弓のけいこを重ねてきました。

ある日、男のふりをしてやぶさめを見に行った先で、ぐうぜん義経に出会います。さよは正体をかかしたまま、命をねらう機会をうかがうことにしました。

キリンの運びかた、教えます 電車と病院も！？

岩貞るみこ／文 たら子／絵 講談社

15時、キリンを乗せたトラックは岩手を出発して、高速道路を走り、約530kmはなれた東京に向かいます。運転手はじゅう医師の資格を持ち、何頭ものキリンを運んだことがあるベテランです。走り出してすぐ、雨がふり出し強い風が背の高いキリン輸送箱をゆらします。この状きょうで安全に運ぶことは、だれでもできるわけではありません。

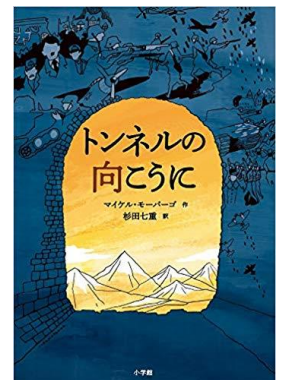


トンネルの向こうに

マイケル・モーパーゴ／作 杉田七重／訳 小学館

1918年、戦とうに勝利した陸軍の兵士ビリーは、けむりの中からあらわれたドイツ兵をにがしてやりました。彼こそが、後にナチスの党首となるヒトラーだったのです。

ビリーは若きヒトラーを殺さなかったことで、自分を責め続けました。1939年、自分の過ちを正すため、殺す決意をしたビリーは、ドイツの別荘でヒトラーと対面します。



ローラとわたし（絵本）

キアラ・ヴァレンティーナ・セグレ／文 パオロ・ドメニコニ／絵

杉本あり／訳 徳間書店



ローラは目が見えません。わたしは、初めて出会ったときから、一人ぼっちで苦しんでいるローラの力になろうと決めました。外に出たがらないときは根気よく声をかけ、散歩にさそい、少しずつ遠出ができるようになります。

物語のラストでは、ローラとわたしのひみつが明らかになります。